

Beyond KUSS , 2019 !!

志望力

11月13日(火), 神戸国際会館こくさいホールで音楽祭を開催します。5回生が演奏者として、そして聴衆として、最高の「憧れの先輩」であることを期待します。

『Beyond KUSS , 2019 !!』No_23(11/1)で、推薦・AO入試の出願状況について紹介しました。そして、「『学びたい大学』から『合格できそうな大学』へ出願が変化していくことには危機意識を感じます。この傾向は、一般入試にも影響を及ぼす可能性が高いです。『学びたい大学』をめざすために全力で学習する姿勢を置き忘れてしまうと、『学ばない大学生』になってしまう危険性が高くなります」など、「志望力」を維持することを訴えています。5月末と10月末の模試受験時の第1志望の状況を見てみましょう。

5月末と10月末の進路希望調査の集計

国公立大学第1志望者が129名⇒116名と13名減少し、私立大学第1志望者が40名⇒51名と増加しています。また、大学単位では、神戸大学第1志望者が46名⇒30名と減少率が最も大きいです。これは、「とりあえず『神戸大学』志望」が多いことを示します。神戸大学第1志望率は27%から10%減少していますが、それでも5回生の17%が神戸大学進学をめざしています。国立難関10大学で見ると、5回生の41%がめざしています。

しかし、志望力に見合う学習力(授業に対する集中力・緊張感)を発揮しているのでしょうか。それを感じることができない場面があるのは、残念です。

マーク模試自己採点集計結果

右図は5回生が受験した3回のマーク模試の平均点比較です。網掛は前回よりも高い数値です。裏面には自己採点集計による科目別度数分布表も掲載しています。

自分の状況を理解し、確実に得点できる学習を心がけましょう。一発逆転ではなく、基礎・基本の着実な累積が受験には必要です。原則として、合否判定は素点で行います。ケアレスミスを最小限にし、自分の実力を発揮することが大切です。

自己採点
科目別平均点

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

『Beyond KUSS , 2019 !!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。

☆ 自己採点科目別度数分布表